

2020年12月1日  
株式会社マクネット

## 2025年のスポーツ×テクノロジー市場を予測

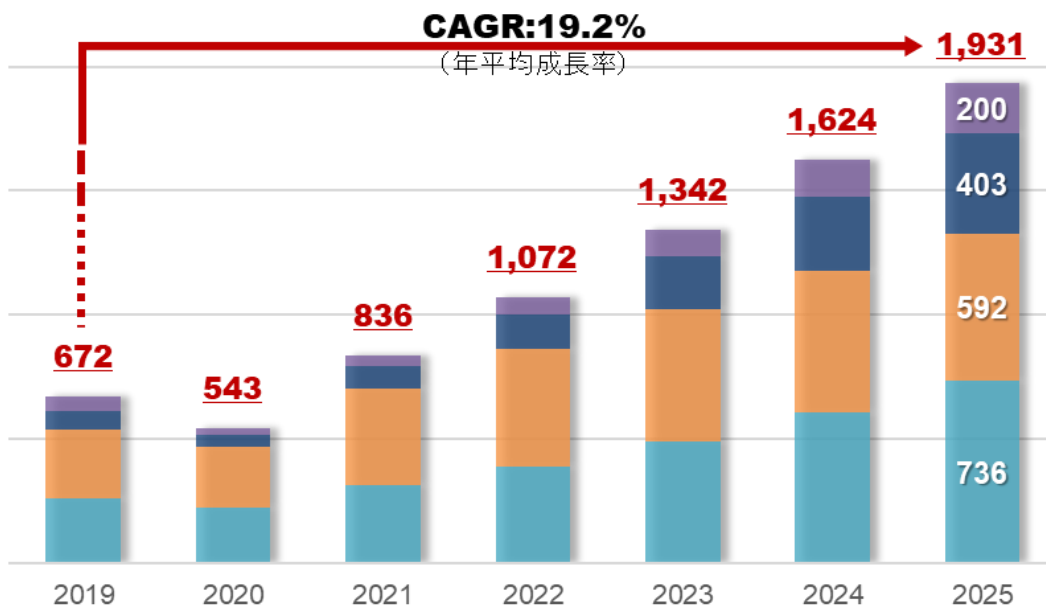
**2025年の市場は1,931億円に成長。年平均成長率19.2%**  
 内訳は、「する」市場:736億円、「みる」市場:592億円  
 「ささえる」市場:403億円、「eスポーツ」市場:200億円

株式会社マクネット(本社:東京都千代田区、代表取締役中村与志也)は、スポーツ×テクノロジー市場をまとめた資料「スポーツテックマーケット '19-'25」を12月1日(火)に発刊いたしました。

調査はスポーツ実施者や市場関係者に対し16,000を超えるアンケート及び面接取材を実施した結果を分析・検証したものです。調査期間は2020年8月-10月上旬、分析期間は2020年10月-11月。

スポーツビジネスはスポーツのみならず建設や旅行、小売、教育、不動産などの周辺産業に与える影響は極めて大きく、経済効果は当該の市場規模をはるかに上回ります。本レポートはその中核をなすスポーツ×テクノロジー市場に焦点を当てて分析した報告書となっております。

スポーツテック市場(単位:億円)



セグメント	スポーツテック対象市場
合計	●下記4セグメントの合計
eスポーツ	●イベント市場を対象 ●実施者は該当ゲームを利用している層
「ささえる」	●プロ、アマチュアの競技団体やクラブ/チームへの※ソリューション市場を対象
「みる」	●有料の動画配信サービスが対象 ●現地会場での有料観戦は含まない
「する」	●ICTを利用した用品やサービスを対象 ●実施者は月一回以上を対象

※ソリューション市場:オリンピック等の国際大会の大会運営ソリューションは含んでいない。又、スタジアム建設費や設備、機器も含まない

## 分析結果概要

**する** 市場の対象は、ICT を利用した用品やサービスの市場。2025 年のスポーツ全体のスポーツテック利用率は 16.8%で市場規模は 736 億円。実施頻度が週 1 日又は週 2-3 日以上「アクティブ」層が占める率は 78.4%と利用の中核となる。競技種類により重要視するアプリケーションが異なっており、団体競技では「楽しみ/コミュニケーション」分野の必要度が強い傾向。競技別の市場では 25 年「ランニング(+ジョギング、マラソン)」が 205 億円、「ゴルフ(コース+練習場)」が 126 億円と他の競技に比べ大きな市場を形成する。

**みる** 市場の対象は、有料の動画配信サービスにおけるスポーツ中継市場。映画やドラマを中心に動画配信サービス市場が拡大する中、スポーツ専門サービスが独占配信権を獲得するなど積極的な攻勢により放送サービスからコアファンを奪い 2025 年の市場は 592 億円に達する。20 年 3 月よりサービスが開始された 5G の基地局整備が進む 25 年には市場の 21.2%が 5G を利用したサービス市場を形成する。5G の開始はモバイル視聴環境の拡大にとどまらず、マルチアングルや VR といった新たな視聴体験を提供する。

**ささえる** 市場の対象は、国内のクラブ/チーム向けソリューション市場。2025 年プロスポーツ市場が 268 億円、アマチュアスポーツ市場が 135 億円で、合計 403 億円の市場を形成する。19 年の市場はプロスポーツ分野が中心で、顧客(=観戦者)向けのソリューションが市場の 7 割を占める。19 年のアマチュアスポーツ分野は 7 億円程度とまだ市場規模が小さいが、22-23 年頃からアマチュア分野のプレーヤー向けソリューションが本格化する。19 年から 25 年の CAGR はプロ分野が 25.6%、アマ分野が 64.6%。

**e スポーツ** 市場の対象は、e スポーツのイベント市場。尚、実施者は該当のゲームを利用しているユーザーが対象となっている。2025 年のイベント市場規模は 200 億円に達する。海外で主流の PC ゲームだけではなく、スマホゲームの勢いも強い国内市場では、今後の普及が見込まれる 5G によって高いポテンシャルを有すると同時に、実施者(ゲームユーザー)数も 25 年で 4,200 万人と既存のスポーツに比べて大量のユーザーが存在し、その潜在成長力は極めて高い。観戦者数は 25 年で 2,390 万人と実施人口(4,200 万人)に比べて少なく、25 年以降も観戦者数の増加が見込まれる。

## 調査方法と有効票数概要

調査主体:株式会社マクネット

アンケート対象:スポーツ実施者

調査方法:Web 法併用

有効回答数:16,228

取材対象:スポーツ実施者、マーケットプレーヤ

調査方法:インデプスインタビュー(オンライン)

取材対象数:301

調査期間:2020 年 8 月~10 月上旬

分析期間:2020 年 10 月~11 月

## 本件に関するお問い合わせ先

株式会社マクネット

〒101-0023 東京都千代田区神田松永町 10 番地

X-Tech Business Unit 遠藤、牛込、志賀

電話:03-5294-4410 メール:[info@i-mct.jp](mailto:info@i-mct.jp)

### 引用・転載時のお願い

報道関係者様:本リリースの引用・転載時には、必ず当社クレジットの明記をお願い申し上げます。

報道関係以外の方:本リリースの引用・転載時には、必ず弊社承諾を得ることをお願い申し上げます。